

勝山地区

●11月24日（木）●勝山公民館●参加者42人

問 旧公民館周辺の公灯あるいは街灯の配置と工事日程について、併せて公民館への裏手からの通行者のために1基公灯の移動を。

答 旧公民館周辺の街灯の配置は現状のまま4箇所LEDに変更し11月末に受渡される予定で、12月初めに速やかに点灯する。公新自治会と公民館を結ぶ階段の周辺については、当面屋外用ソーラー式センサーライトを設置し対応する。

問 勝山市街から日の出橋経由ゆうゆ間の道路に街灯の設置を望む。

答 勝山市街交差点から日の出橋までLED5灯の街路灯が設置されている。増設の希望は街路灯委員を通じて事務局に要望いただいて、委員会で検討の上配置される。本年度は全町的なLEDへの切り替え工事が進行中で、次年度以降の配置となる。道路灯での設置には決まりがあり、交差点、橋の前後など交通安全上必要な箇所であり、全町的にも郊外ではなかなか設置していない状況だ。

問 ふれあい公園（パークゴルフ場）トイレについて、男性用1、女性用2、計3台の便座がありますが、いずれも和式であり、高齢化に伴い、実情に合わなくなっている。洋式への変更をお願いしたい。

答 パークゴルフ愛好家の皆さんからの要望も多いことから、現在のトイレの洋式化が可能か確認したところ、設置が可能であるため、男性用・女性用それぞれ1箇所を洋式トイレにする方向で検討していく。

問 昨年度の地域懇談会にて「置戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、2040年の人口を2,300人程度に設定し、そのための定住促進施策、人口流失防止策、転入人口増加策の説明があった。それらの進捗状況について何か報告すべき事項がありましたら。

答 「置戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、119事業を盛り込みました。この中には、既に総合計画に搭載しこれまで取り組んでいる事業が52事業、既存事業見直しを含め平成27・28年度からスタートした事業が10事

業、残り57事業が計画期間の平成31年度までに実施、あるいは事業の可能性や実施方法の検討をしている。平成27年度に実施した事業については、現在、置戸町行政評価委員会の委員さんに評価をしていただいている。定住対策として新築住宅の建設や住宅改修への支援、子育て支援策として各種検診や医療費助成のほか、町外への通学生への定期購入費補助、地場産業の振興策としてオケクラフトの研修制度などは、有効な事業であり今後も継続していくべきとの評価となっている。また、地域別の施策や目標値は設定していないが、総合戦略では、農業経営の安定化を目指す施策の一つとして、「勝山グリーンファーム」など農業生産法人への支援を位置づけている。また、来春リニューアルオープン予定の「勝山温泉ゆうゆ」は、観光資源の位置づけとともに、地域経済の活性化を目指す重要な施設と位置づけ、現在、町民有志による運営組織を立ち上げることで進んでいる。いずれの事業も、勝山地域はもとより、置戸町のまちづくりに大きく関わってくる。今後も地域の皆さんのご支援、ご協力をいただきながら、勝山地域の活性化に努めていく。

問 8月の台風による勝山地区の被害とその後の回復状況、そして今後の対策について。

道道、町道（特に砂利道）の状況。鹿ノ子ダム周辺、河川の状況と流木の処分について。

答 道道関連で道道留辺薬本別線の厚和常元の間は、台風以降通行止めになっているが、引き続き冬の通行止めに入る。復旧工事は雪解け後からで開通は夏を目処に考えているとのこと。道道常元中里線は体験交流センター手前で大きく決壊しており、開通は夏とのこと。町道関連は町道の通行止め路線は、常呂川本流線・春日線・鹿ノ子沢線の3路線。春日線・鹿ノ子沢線は雪解け後復旧に着手するが、常呂川本流線は道道常元中里線が開通後の工事着手となる。おけと湖周辺の被害状況は、森林体験交流センター下の道道常元中里線が被害を受けて通行ができない状況で、来年夏まで復旧がかかる見込み。これも、国有林内から流れる白滝の沢川の氾濫により被害を受けたもので、そのおけと湖に流れ出す地点の湖水祭りなどを開催する湖畔広場、遊歩道、親水施設も壊滅的な被害を受け、現在水路の確保はなされているが完全復旧の目処はたつて